

日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
工学システムに対する安心感等検討小委員会 (第25期・第1回) 会議議事録

2021年2月17日

日時：2021年2月17日(水) 15時～17時

会場：オンライン開催

出席者：大倉典子、中川聡子、蒲池みゆき、庄司裕子、須田義大、辻佳子、野口和彦、萩原一郎、松岡 猛、宮崎久美子、向殿政男、矢川元基、(オブザーバー：加藤俊一、小山慎一、高寺政行、長沢伸也、柳澤秀吉、山中敏正)

記録：小山

配付資料：

- 資料1：日本学術会議幹事会声明(令和3年1月28日)
- 資料2：学術フォーラム「危機の時代におけるアカデミーと未来」案内
- 資料3：本小委員会設置提案書
- 資料4：本小委員会名簿
- 資料5：報告「工学システムに対する安心感と社会」のポイント
- 資料6：報告「工学システムに対する安心感と社会」

1. 自己紹介

出席者全員がパワーポイントを用いて自己紹介を行った。

2. 役員の選出

世話人(大倉)からの提案をもとに、以下の通り役員が選出された。

委員長 大倉典子

副委員長 辻佳子

幹事 柳澤秀吉、小山慎一

3. 日本学術会議を取り巻く環境

大倉委員長より、資料1に基づいて現状についての説明があった。これと関連し、2月27日に学術フォーラムが開催される旨、案内があった(資料2)。

4. 小委員会設置の趣旨と経緯

大倉委員長より資料3・4について説明があった。

5. 国内・国外の動向・情報交換と今後の進め方

松岡委員より、安全工学シンポジウムの実施案(6月30日～7月2日)について説明があった。シンポジウムにおいて、この小委員会としてOSを開催することが承認され、OSの具体案については、メールで相談することになった。

今後の進め方については、「工学システムに関する安全・安心・リスク」という枠組みの中で、安全、安心(感)、快適(感)、感性等の概念の整理やモデル化、具体的事例への応用等を目指した議論を引き続き行うことが確認された。

6. その他

議事要旨の提出については委員長に一任すること、および、新規参加の委員も含めて、委員間の連絡用メールアドレスを共有することが承認された。

以上